Special Report

# 福智の「農」を守るために

## 課題解決への第一歩を

私たちが生きていくうえで欠かせないのが食事。そんな私たちの食を支えている農業が抱える問題は、全国的に広がり深刻化しています。今月号では、福智町の農業を守る人、課題解決に向け頑張る人たちを紹介し、これからの町の農業について考えます。

### 未来へ繋げるために現状を知り考える

現在、福智町の農業を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化により大きく変化しています。それにより、農業経営の中心となる農作業者の約8割が高齢者になっているなど年々高齢化が進み、耕作放棄地の増加や後継者不足、生産資材価格の高騰による農業経営への圧迫、有害鳥獣被害などの問題が深刻化し、大変厳しい状況にあります。食料品等の物価高騰や生活圏での有害鳥獣の出没など私たちの日常生活にも影響と危険を及ぼしています。

福智町では、その対策として機械導入補助事業や研修費用助成による担い手の育成や新規就農者相談・支援など、後継者不足解消にむけての取組みや鳥獣被害に悩む農家さんに対して電気柵・防除威嚇機の補助や小型罠の貸出しなどを実施。しかし、これらの取組みだけでは、解決できないというのが現状です。

そのためにも、私たちの生活を支えている「農業」を守り続け、未来につなげることの重要さを知り、考え直す必要があるのではないでしょうか。

### 農家と共に奮闘し課題解決へ動き出す

福智町の今と未来に重くのしかかる農業の課題。そんな中、農家さんたちは、私たちに新鮮で美味しい食材を届けるために日々奮闘してくれています。農業の未来を守り繋げていくためには、生産者だけではなく、消費者である私たちも考え、課題解決に向けて動き出さないといけません。

次ページからは、それぞれの切り口で、町の農業を守る人たちの取り組みや熱い想いにスポットをあてます。

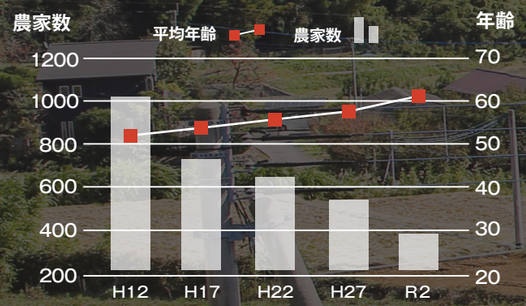


### JAたがわ 営農部
営農企画課 課長 木村 大作さん

### 大きな壁を乗り越え農業発展を共に目指す

私たちJAは農家さんたちの様々な申請についてのお手伝いや農作物の収量、品質を上げるための指導などを行い、地域農業の発展を目指しています。しかし、高齢化などによって様々な大きな問題を抱える農業。福智町では、法人化にして農地集約をしたりなど、農家さんたちが農地を守るため、一生懸命に頑張っています。私たちとしても法人化などで農業を生業として選択できる仕組みを普及することや農家さんが農業に専念できる仕組み作りを構築して、地域の方々と共に地域農業の発展を目指していきたいです。

福智町の農家世帯数と平均年齢




【参考】農林業センサス

農林水産省が農林業・農山村の現状と変化を的確に把握することを目的に5年ごとに実施する農林業センサスの調査結果では、福智町の農家数は平成12年(2000年)は1015戸で令和2年(2020年)では、385戸と半分以下に減少。平均年齢は平成12年で、51.9歳で令和2年では、60.9歳と右肩上がりで上昇しています。今年も農林行政を推進するために、12月中旬に、町内の農林業を営んでいる方々を対象に調査を実施いたします。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

Column

### 農業の豆知識

農業でよく使われる単位をご紹介。

1歩(ぶ)＝約3㎡(畳2枚分)

1畝(せ)＝約99㎡(テニスコート片面)

1反(たん)＝約991㎡(テニスコート5個分)

1町(ちょう)＝約1ha(サッカーコート1.4個分)